

地震ハザードマップについて

行田市が想定している地震

市では、埼玉県が平成24年度から平成25年度に実施した「埼玉県地震被害想定調査」で発生が想定される地震のうち、行田市において最大震度7が想定される「関東平野北西線断層帯地震」破壊開始点：中央」を想定地震として、この地震ハザードマップを作成しました。

(活動履歴に関する新たな知見から、関東平野北西線断層帯地震における断層帯の名称は、深谷断層帯・綾瀬川断層(関東平野北西線断層帯)と平成27年4月に改訂されました。)

関東平野北西線断層帯地震の断層位置図



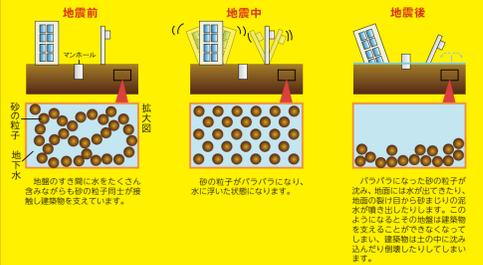
指定緊急避難場所及び指定避難所一覧

※指定避難所は、指定緊急避難場所を兼ねる。

施設名	所在地	電話番号	施設名	所在地	電話番号	施設名	所在地	電話番号
①旧北河原小学校	北河原 1517	—	⑩商工センター	忍 2-1-8	553-0510	⑭下忍小学校	下忍 2451	556-2404
②北河原公民館	北河原 1378	557-3508	⑪忍中学校	本丸 18-6	554-9371	⑮埼玉小学校	埼玉 4610-2	559-1000
③総合福祉会館	酒巻 1737-1	557-5400	⑫忍小学校	本丸 7-20	554-5551	⑯埼玉公民館	埼玉 4600	559-0047
④旧須加小学校	須加 4586	—	⑬忍2エビテカみずしろ	本丸 5-10	554-6797	⑰埼玉中学校	埼玉 4143-1	559-4204
⑤須加公民館	須加 4650-2	557-3507	⑭忍シルバー人材センター	旭町 13-24	556-5221	⑱見沼元公園	須加 3792	—
⑥南河原中学校	南河原 1081	557-0131	⑮忍2エビテカみずしろ分館	向町 5-3	—	⑲大塚農村公園	大塚 1460	—
⑦南河原小学校	南河原 782	557-0033	⑯東小学校	長野 2-26-8	554-5553	⑳馬見塚公園	馬見塚 540	—
⑧南河原公民館	南河原 869	557-3188	⑰太田小学校	小針 3521	556-2997	㉑総合公園	和田 1165	—
⑨見沼中学校	荒木 4892	557-2181	⑱太田公民館	下須戸 971	559-4299	㉒富士見児童交通公園	富士見町 2-9	—
⑩荒木公民館	荒木 1111	557-3506	⑳太田中学校	下須戸 1164-1	559-3545	㉓中央児童公園	中央 6-1	—
⑪見沼小学校	荒木 1606	557-2183	㉑持田小学校	城西 5-9-26	553-1415	㉔富士見公園	富士見町 1-15	—
⑫北小学校	和田 94-1	554-5521	㉒西小学校	持田 3-5-9	554-5554	㉕城西公園	城西 3-14	—
⑬星河公民館	谷郷 2082	553-1417	㉓西中学校	持田 600	553-1434	㉖市役所駐車場	本丸 2-5	—
⑭総合体育館	和田 1242	553-3377	㉔忍・行田公民館	佐間 1-22-11	556-8674	㉗産業文化会館駐車場	本丸 2-20	—
⑮児童支援センター(旧北河原小学校)	上池守 47	—	㉕南小学校	佐間 1-25-4	554-5555	㉘忍城バスターミナル	本丸 3-5	—
⑯星宮公民館	上池守 46	554-9963	㉖県立行田特別支援学校	長野 4235	554-3302	㉙向町公園	向町 7-29	—
⑰進修館高等学校	長野 1320	556-6291	㉗佐田公民館	佐間 3-1-37	553-1478	㉚水城公園	水城公園	—
⑱養正高等学校(旧行田工業高等学校)	長野 1354	554-2811	㉘行田中学校	佐間 3-3-8	554-9196	㉛古代蓮の里	小針 2375	—
⑲長野中学校	桜町 2-1-55	554-2240	㉙旧太田東小学校	真名板 955	—	㉜さきたま古墳公園	埼玉 4834	—
⑳桜ヶ丘小学校	長野 1880	554-0681	㉚地域文化センター	真名板 1173-2	559-3051	㉝棚田中央公園	棚田町 1-2	—
㉑桜ヶ丘公民館	長野 1812-1	556-6500	㉛男女共同参画推進センター	佐間 3-23-6	556-9301	㉞鶴土井公園	門井町 3-8	—
㉒県立総合教育センター	富士見町 2-24	556-6164	㉜太井公民館	棚田町 1-58-10	553-0766	㉟門井球場	門井町 2-23	—
㉓地域交流センター	下須戸 629	559-1399	㉝泉小学校	持田 70	553-3181	㊱清水町公園	清水町 11	—
㉔長野公民館	長野 1-4-8	553-1414	㉞下忍公民館	穂上 214	553-1418	㊲若里山公園	若里山町 1-51	—

液状化とは？

地下水を含む地盤が、強い揺れで泥水のような現象をいい、地盤の上の建物が傾いたり、沈んだりします。



各震度の揺れの強さ

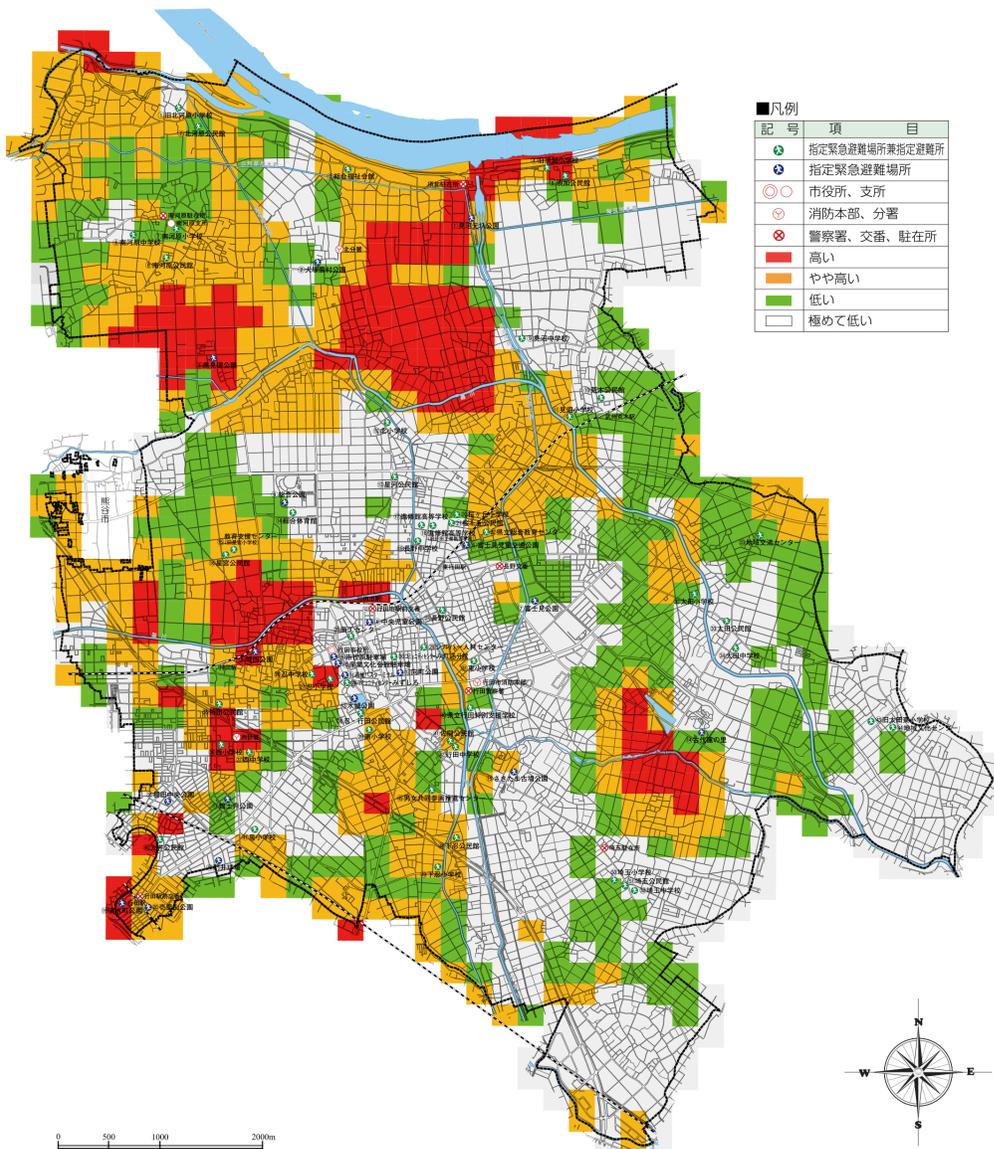
震度	揺れの状況
0	人は揺れを感じません。
1	屋内で静かにしている人の中には揺れをわずかに感じる人もいます。
2	屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じます。
3	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じます。
4	大半の人が驚き、電灯などのつり下げ物は大きく揺れます。
5弱	大半の人が物につかまらなければならないと感じます。棚の食器類や本などが落ちることがあります。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがあります。
5強	物につかまらないうつろい、棚の食器類や本などが落ちるものが増えます。補強されていないブロック塀などが倒れることがあります。
6弱	立っていることが困難で、固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもあります。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがあります。耐震性の低い木造建物は瓦が落下したり、建物が傾いたり倒れることもあります。
6強	動くことができず、飛ばされることもあります。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増えます。耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものが増えます。電気・ガス・水道などのライフラインに被害が発生することがあります。
7	補強されているブロック塀も破損することがあります。耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものが増えます。耐震性の高い建物も、まれに傾くことがあります。耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では倒れるものが増えます。

液状化可能性マップ

表層地盤の砂層の状況や地下水位を考慮して、250m四方ごとに予測しました。

液状化しやすい箇所は、地震動（揺れやすさ）がそれほど小さくなくとも液状化が発生する可能性が高いことを意味しています。

特に河川周辺の地域では、液状化が発生する可能性が高く、液状化による建物の沈下や傾斜により電気・ガス・上下水道といったライフライン被害や道路被害が発生します。

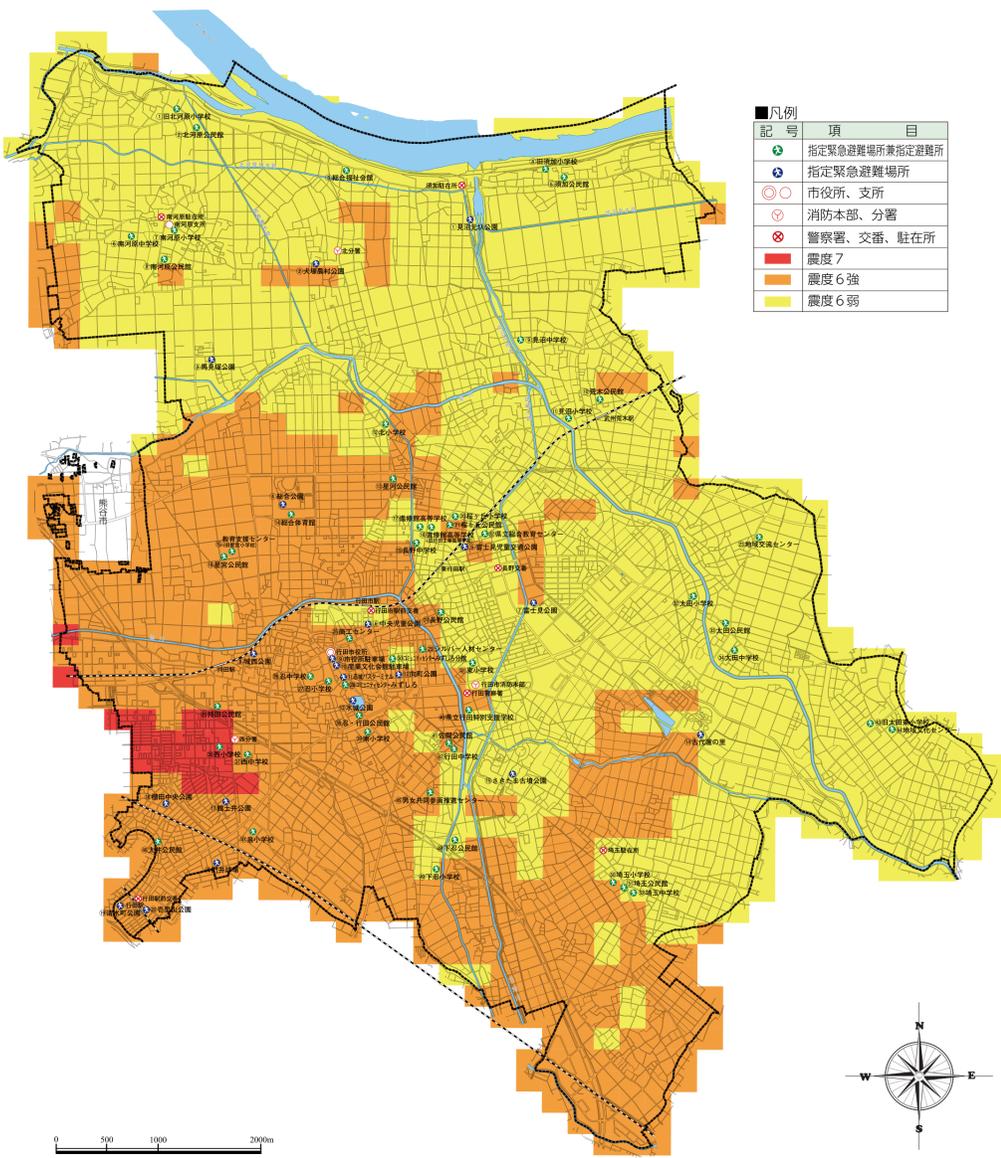


揺れやすさマップ

想定地震が発生した場合の震度を表層地盤の影響を考慮して250m四方ごとに予測しました。

行田市内では多くの地域が後背地であるため、市内全域が比較的揺れやすくなっています。また、持田周辺の一部の地域では、最大震度7の揺れが発生することが予想されています。

阪神・淡路大震災では、死者の約8割が家屋の倒壊や家具などの転倒による圧迫が原因です。建物の耐震化や家具の固定化を実施しましょう。



地域総合危険度マップ

建物全倒壊の危険度と火災による家屋焼失の危険度を総合的な地震による危険度としてまとめ、危険度が高い地域から順位付けを行い、地震発生時における危険地域を250m四方ごとに予測しました。

危険度が高い地域から地震の揺れによる建物全倒壊や火災が発生する可能性が上昇しています。しかし、危険度が低い地域であっても何らかの被害が発生する可能性があるため、しっかりと防災対策に取り組みましょう。

